

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス マルクスコラはなみづき教室				公表日 令和7年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・パーテーションを使用して空間をわけている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・スタッフ1：5利用者さんの人員配置基準を満たしている。 ・人員配置基準は満たしている	・個別対応が必須である際は+1名あるとより安心できる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・トイレ表示、倉庫扉、相談室壁に注意書きを掲示。 ・ロッカーの場所、あいさつのルールが貼ってある場所等、一貫した場所になっている。	・壁面が整理の必要性あり。 ・壁面飾りがあちこちに貼られ、情報過多になっている部分もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日清掃実施。活動に合わせた備品あり。 ・ノロックスの交換、物品の安全確認はできている。	・細かなところまでの手入れを行っていく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・集団活動部屋の他に個別の相談室あり。 ・相談室兼静養室として準備している。 →体調不良や騒音のしんどさがある場合、理由をスタッフに伝えて利用可能となっている。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・日々の終礼、朝礼にて確認。 ・各スタッフの定期的な面談、週の振り返りを行い、課題分析、次回以降の取り組み・改善を行っている。 ・目標設定を、週ごと、月ごと、半年ごとの振り返りの場が設けられている。	・週報等については継続して検証していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・日々のご要望、玄関にご要望アンケートシート設置。	・実施の不十分さがある。ニーズの聞き取りも偏りがある状態。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・日々の終礼・朝礼、事業所内MT等で聞き取った意見を反映。個別での月一面談での聞き取りと反映も行っている。 ・支援会議、日ごろの業務内容に関するミーティングにて、意見を聞きいただき、必ず確認したうえで業務改善がなされている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・内部監査にて、計画書等書類確認の実施。 ・外部監査、会社として存在している。	・第3者としての期間は設定しているが、評価結果に対する助言等の機会がない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・事業部研修、社内研修を定期的に実施。 ・外部研修も個別に参加。 ・事業所内研修の年間スケジュール化し、実施をしている。 ・毎月スタッフを対象に研修を受講している。 ・研修のお知らせ、受講料の負担など、参加しやすい環境が整っている。	
支援 体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・当日のご利用者様それぞれに合わせて、活動テーマの内容を検討し提供。 ・HPにて公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・半年に一度のモニタリング面談を実施。利用者様一人ずつ個別面談を実施。 ・子ども、保護者それぞれに面談機会を設け、希望、状況の確認を行っている。また聞き取った内容をもとに計画書に反映し、サービス提供前に計画の確認、実施を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・日々の支援記録と直接支援に関わるスタッフからの意見をもとにモニタリング面談を実施。 ・利用者一人ひとりと直接面談を行っている。 ・個別事例検討会や支援会議など、振り返りと学びとなる時間を作成している。	・計画案について、全員で会議される時間を確保することがなかなか難しい状態。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・日々、朝礼時等で計画内容を確認。当日ご利用の方の支援方法や内容の話し合いを行っている。 ・作成した計画内容を、「回覧」という仕組みを使って、共通認識している。	・利用者さんの計画書が一括で確認ができるツールを構築し、確認がしやすい体制を整えていく必要があり。

適切な支援の提供	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・体格に合わせた机と座席を用意。日々の言動をディリー等で共有し、懇測で終わらないよう観察や直接ご利用者様へ確認をしている。 ・フェイシート、アセスメントシート関連は活用している。 ・標準的な検査は、個々にゆだねているが、日々の観察・支援譲許には必ず共有されている。冰山モデル、応用行動分析など、具体的なツールを、日々取り入れるところが課題。支援会議では実施。 	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様一人ひとりの課題やニーズと各項目を併せて計画を立て、支援を行っている。 ・本人支援～地域支援まで、全項目が記載できるフォーマットを用いている。また、支援内容の設定は必ず、支援者としての立場で提供できることを記載できている。 	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の活動カレンダーMTGのほか、保護者様やご利用者様からのニーズを取り入れている。 ・スタッフ全員で、活動内容の提案、ニーズの検証といった、会議を毎月実施。 	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に3箇ほど、新しい活動を実施。 ・利用者さんへ希望のプログラムを聞き取り、固定化しないように立案、実施を行っている。 ・固定のプログラムもありつつ、新しいプログラムを入れている。 	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に対応が必要な方の座席を配慮し、集団活動の中でも活動できるように対応。 ・不登校枠でご利用されている利用者さんに、本人さんのペースや状況に合わせて集団活動の移行など計画に沿いながら進めている。 ・個別対応のみの生徒さんの枠が存在。 また、集団療育の生徒さんも、内容に合わせ、個別での実施、集団での実施を組み合わせている。 	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に、プログラム内容の共有、役割の明確化、計画書の確認を必ず実施している。 	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・社内チャットにて共有。サポートの動きや計画書も合わせて確認。 ・ディレミーティングにて、生徒の様子、気づいた点、支援実施の反省を必ず共有している。 	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的な記録になるよう、会話の内容等記載。 ・支援記録の書き方に関する研修あり。また、計画書にあった内容化、伝えるべきことを書いているか、確認を逐一行っている。 	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様とのモニタリング面談のほか、ご利用者様との個別面談を実施。 	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動、調理、外出、他事業所との合同プログラム、お仕事体験など、楽しみながら様々な活動を行なうようにしている。 ・コミュニケーション、働く、社会性、生活スキルのプログラムの提供、生徒企画会議の実施・アイスブレイクや余暇活動のゲームなどを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスガイドラインを意識してとりくめていない。ガイドライン内容の定着が今後の課題。 ・「地域交流の活動」の回数が少ない。
関係機関	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想をもとにグループや個別のワークを実施。状況やご利用者様に応じて、いくつか選択肢を用意し自己決定のサポートに繋げている。 ・子供に強制する、促すだけでなく、「こんな選択肢もあるよ」と提示して、自分で選べるような療育を提供している。個別・集団療育問わず。 	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が出席。 ・保護者様、担任の先生、相談員様、他のディースタッフさんと、会議の開催・参画。 	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ訪問し、ご利用者様のサポートを学校の先生方と連携をして行っている。 ・リクルートという地域連携・外部連携の仕組みがあり、毎月30件を目標に外部と連携している。 	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ訪問し、ご利用者様のサポートを学校の先生方と連携をして行っている。 ・その日のトラブル等、保護者様に原則当日中に共有を行っている。 ・何か情報共有するトピックがあった際、または依頼があった際に、学校との情報共有を直接出向いて実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻度は少ない。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の施設との連携実績がない。

関わ る 保 護 者 と の 連 携	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・アセスメント表、計画書等、情報共有をしている。 ・株式会社マレック内や、依頼があった場合は他の施設に向けた、情報提供を実施している。	・放課後等デイサービス連絡協議会が本格始動したため、今後は研修会や勉強会を通して連携を行っていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5	・研修参加等は個人判断になっている。	・職員さんとの連携ははかれているが、交流等はまだ実現できていない。 ・児童発達支援センターへご挨拶はしたものの、密な連携が取れていない。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・他事業所さんの放課後等デイサービスとは、交流を行っている。	・計画段階であり、実行していく必要性がある。 ・これまで事例がなし。ただ、児童クラブや地域公民館、児童センターにご挨拶済み。今後連携を行う。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		・地域の協議会があるのか、個人ごとに把握できていない。参加もしていない。
	34 曰頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・月に一度、支援記録のお渡し。必要に応じて、送迎時の伝えの他、お電話やLINEを使用している。 ・相談支援専門員さんとは、個別支援計画書の共有のさいに近況報告や課題の共有を相互で行っている。 ・送迎に来ていただけの保護者様にはこちらから情報共有を行っている	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・親子参加の進路相談会の実施。	・保護者様への助言はあるものの、ペアレンツ・トレーニングとして、など具体的な場・企画として情報提供は行っていない。
保護者 へ の 説 明 等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時、管理者より説明。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・日々の情報共有のほか、モニタリング面談と個別面談にて、保護者様とご利用者様より個々に聞き取りを実施。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・計画案を保護者様に説明後、本計画にサインをいただいている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・状況に応じて、関係機関と連携しながら対応。 ⇒相談員、学校、他事業所 など。 ・電話、対面、関係者会議、三者面談など、様々な形式でご相談を承っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	・進路相談会を4ヶ月に1度実施を行った。	・交流できる内容までは実施できていない。 ・保護者様同士が交流できる場は、生徒の企画に及びしたときのみとなっている。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・上司への相談。事業所内の共有。即日対応をしている。 ・苦情の一次対応は全員出来るようになった。	・二次対応以降、管理者、チーフ児童指導員のみ対応できるため、課題。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・スクラ通信、ブログ、インスタグラムにて実施。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・SNSに掲載する写真等について、顔加工対応をしている。 ・利用者さん一覧にSNSなど発信する際には、顔出し等の確認ができるリストを確認している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・画像を使用したLINE配信、予約のリマインド連絡をしている。 ・意思伝達が言語で難しい方には、イラストや図、その他のツールを活用しごとに合わせた意思伝達方法を提案、実施を行っている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・お仕事体験の実施。 ・地域会社でのお仕事体験を実施。	・現状、テナント内の事業所に向けた招待イベントや地域の学習塾とのコラボ企画を検討中。 ・地域の方を招待することは、現時点では出来ていない。
関 わ る 機 関 と の 連 携	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3	・マニュアルは、スタッフルームにて掲示。防災訓練を半年に1度、活動内で実施。	・訓練の実施はできているが、マニュアルの周知まではできていない。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・半年に一度、ご利用者様を含めて実施。その他、テナント内でも実施。	・避難場所の確認等は、行っているがその他の訓練は出来ていない。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2	・契約時に確認。その他、状況に応じて確認をしている。 ・服薬状況は、アセスメント時に確認。 その他、とんでもく薬を持たせてもらうなど、こちらから	・予防接種までの確認は行えていない。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントプログラム時に確認している。 ・アレルギー面については、アセスメントの際に細かく聞き取り、調理プログラムの際に、事業所側で判断が困った時には保護者様に連絡をし確認をとっている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内にカメラを設置し記録をしている。 ・日々の終礼等で共有。 ・外出や調理等のイベント時には、企画書にて詳細を記載。 ・危ない状況があった際に、安全管理として何ができるかを適宜確認している。 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガ等は保険適用になることの説明。 ・かかりつけ医の確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画までの周知が行えていない。 ・今後、災害時の引き渡し訓練など、実施する必要があるかと考える。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のデイリー等でヒヤリハット事例を確認し、データにして事業所チャットに報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月よりヒヤリハット事例をより記入、発見できるように終礼等の時間で検討する時間をとっている。 ・これまで、ヒヤリハットが年に数個しかない状態だったが、今後は、支援日誌とともにヒヤリハット報告書を添付して、共有できる体制にしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部全体で取り組んでいる。 ・虐待防止研修を、定期的に開催。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	-	-	該当なし	該当なし